

1 基本項目	事務事業名	高齢者見守りネットワーク推進事業			担当部署	課名	社会福祉課			
	予算事業名	総合相談事業				係名	高齢福祉係			
	事業区分	自治事務				電話番号	0765-23-1007			
	総合計画	事業期間	開始年度	平成12年度以前	終了年度	当面継続	予算科目	会計	介護保険事業特別会計	
		目標名	基本目標3 健やかで笑顔あふれるまち					款	地域支援事業	
		政策名	9 健康で安心して暮らせる社会の構築					項	包括的支援事業・任意事業	
		施策名	29 地域で支えあう福祉社会の推進					目	総合相談事業	
基本事業名	29-2 見守り支援体制の確立			市民協働の状況		協働している				

2 事業概要	事業概要	地域包括支援センターが地域における関係者とネットワークを構築し、地域住民による高齢者の見守り活動の体制整備を行う。
	対象	概ね65歳以上の一人暮らし高齢者および高齢者のみ世帯
	手段(活動指標)	福祉推進員の設置。また民生委員を地域包括支援センター協力員として委嘱し、地域の見守り体制を構築する。
	意図(成果指標)	地域住民が地域の高齢者を見守る体制を整備し、高齢者の異変の変化の発見や適切な支援機関へつなぐことで高齢者が住みなれた地域で安心して生活を続けることができる。

3 指標	指標名	単位	24年度		25年度			26年度
			計画	実績	計画	実績	達成率	計画
活動指標	① 65歳以上高齢者	人	12,848	12,502	13,068	13,210	101.1%	14,000
	②							
	③							
成果指標	① 福祉推進員数	人	312	320	320	320	100.0%	320
	② 福祉推進員見守り件数	件	1,200	1,129	1,200	1,056	88.0%	1,200
	③ ケース検討会開催回数	回	26	23	26	29	111.5%	26

4 コスト情報	区分	単位	24年度		25年度			26年度
			予算現額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
支出内訳	① 需用費	円						
	② 委託料	円	3,300,000	3,300,000	3,300,000	3,300,000	0.0%	3,305,000
	③ 工事請負費	円						
	④ 負担金補助及び交付金	円						
	⑤ その他	円						
	支出合計(A)	円	3,300,000	3,300,000	3,300,000	3,300,000	0.0%	3,305,000
財源内訳	① 国庫支出金	円	1,303,000	1,303,000	1,303,000	1,303,000	0.0%	1,305,000
	② 県支出金	円	651,000	651,000	651,000	651,000	0.0%	652,000
	③ 地方債	円						
	④ その他(使用料、雑入等)	円	1,346,000	1,346,000	1,346,000	1,346,000	0.0%	1,348,000
	⑤ 一般財源	円						
	収入合計	円	3,300,000	3,300,000	3,300,000	3,300,000	0.0%	3,305,000
人件費	① 事務事業に携わる正規職員数	人	2	2	2	2	0.0%	2
	② 年間所要時間	時間	260	260	260	260	0.0%	260
	③ 人件費(②×@ 4,200円)(B)	円	1,092,000	1,092,000	1,092,000	1,092,000	0.0%	1,092,000
	総費用(A+B)	円	4,392,000	4,392,000	4,392,000	4,392,000	0.0%	4,397,000

5 取組内容	平成25年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容	
	○魚津市社会福祉協議会へ事業の委託	
	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉推進員の確保・登録及び活動に必要な研修の実施 ・福祉推進員の活動記録の市への報告 ・地域福祉団体等と連携を図るための検討会の実施 	
6 評価	○魚津市民生委員児童委員協議会へ事業の委託	
	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者に関する相談活動や地域の見守りを行うなかで地域包括支援センターとの連携を図り高齢者へ適切な支援を繋げる。 ・高齢者福祉への理解を深めるための研修会の開催 	
	○地区ケース検討会への参加(平成25年度23回)	

6 評価	評価の視点	H24評価	H25評価	評価項目	内容		
					1	2	3
6 評価	妥当性		A	自治体関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 1 妥当である	<input type="checkbox"/> 2 検討の余地あり	<input type="checkbox"/> 3 妥当でない
				目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 1 妥当である	<input type="checkbox"/> 2 検討の余地あり	<input type="checkbox"/> 3 妥当でない
				対象の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 1 妥当である	<input type="checkbox"/> 2 検討の余地あり	<input type="checkbox"/> 3 妥当でない
	有効性		B	目標達成度	<input type="checkbox"/> 1 高い	<input checked="" type="checkbox"/> 2 目標どおり	<input type="checkbox"/> 3 低い・未実施
				類似事業の有無	<input type="checkbox"/> 1 なし	<input checked="" type="checkbox"/> 2 検討の余地あり	<input type="checkbox"/> 3 あり
効率性		B	上位施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> 1 高い	<input type="checkbox"/> 2 普通	<input type="checkbox"/> 3 低い	
			コスト効率	<input type="checkbox"/> 1 高い	<input checked="" type="checkbox"/> 2 普通	<input type="checkbox"/> 3 低い	
			実施主体の適正化	<input checked="" type="checkbox"/> 1 適正である	<input type="checkbox"/> 2 改善の余地あり	<input type="checkbox"/> 3 適正でない	
	負担割合の適正化	<input checked="" type="checkbox"/> 1 適正である	<input type="checkbox"/> 2 改善の余地あり	<input type="checkbox"/> 3 適正でない			
	1次評価(課長総括)		B	事業の進め方・内容について改善の余地あり	2次評価	不要	
	後(課題及び今後の方針)の評価結果	地域住民による見守り活動を整備し、顔の見える関係づくりを構築することで、結果的に高齢者個人で抱えている問題が解決に繋がることも多くあり、今後も各地域の実情に合わせ、各種機関との密な情報共有を行いながら事業を継続する。			評価結果		

1 基本項目	事務事業名	権利擁護事業			担当部署	課名	社会福祉課	
	予算事業名	権利擁護事業				係名	高齢福祉係	
	事業区分	自治事務				電話番号	0765-23-1007	
	事業期間	開始年度	平成12年度以前	終了年度	当面継続	予算科目目	会計	介護保険事業特別会計
	総合計画	目標名	基本目標3 健やかで笑顔あふれるまち				款	地域支援事業
		政策名	9 健康で安心して暮らせる社会の構築				項	包括的支援事業・任意事業
		施策名	29 地域で支えあう福祉社会の推進				目	権利擁護事業
	基本事業名	29-2 見守り支援体制の確立			市民協働の状況	協働している		

2 事業概要	事業概要	財産管理や公共施設等での手続きに不安を感じる高齢者に対して日常生活自立支援事業を紹介したり、認知症により判断能力が著しく不十分な高齢者が、個人の尊厳を保ち安心して暮らせるよう成年後見制度の普及啓発を行う。
	対象	認知症等により判断能力が著しく不十分な高齢者や虐待など複数の問題を抱えている高齢者
	手段 (活動指標)	本人からの相談、家族、関係者からの情報により、権利擁護の観点から緊急性の判断、実態調査を行い、必要な支援やサービスにつなぐ。その後も、経過観察を行う。
	意図 (成果指標)	判断能力が十分でない認知症高齢者や虐待・詐欺の被害にあっている高齢者などの権利擁護及び法的地位の確立を図り、福祉の増進に繋がる。

3 指標	指標名	単位	24年度		25年度			26年度
			計画	実績	計画	実績	達成率	計画
活動指標 成果指標	① 権利擁護等相談件数	件	20	17	25	20	80.0%	30
	② 成年後見制度市長申立件数(高齢者分)	件	3	3	4	1	25.0%	5
	③							
	① 市長申立/相談件数	%	15.00%	17.65%	16.00%	5.00%	31.3%	16.67%
	②							
	③							

4 コスト情報	区分	単位	24年度		25年度			26年度
			予算現額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
支出内訳	① 需用費	円	42,000	38,000	42,000	21,682	-42.9%	44,000
	② 委託料	円	40,000		40,000			40,000
	③ 工事請負費	円						
	④ 負担金補助及び交付金	円						
	⑤ その他	円	4,000		4,000	1,920		4,000
	支出合計(A)	円	86,000	38,000	86,000	23,602	-37.9%	88,000
財源内訳	① 国庫支出金	円	35,000	15,000	35,000	9,000	-40.0%	35,000
	② 県支出金	円	26,000	7,000	16,000	4,000	-42.9%	17,000
	③ 地方債	円						
	④ その他(使用料、雑入等)	円	25,000	16,000	35,000	10,602	-33.7%	36,000
	⑤ 一般財源	円						
	収入合計	円	86,000	38,000	86,000	23,602	-37.9%	88,000
人件費	① 事務事業に携わる正規職員数	人	2	2	2	2	0.0%	2
	② 年間所要時間	時間	60	60	60	60	0.0%	60
	③ 人件費(②×@ 4,200円)(B)	円	252,000	252,000	252,000	252,000	0.0%	252,000
	総費用(A+B)	円	338,000	290,000	338,000	275,602	-5.0%	340,000

5 取組内容	平成25年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容	
	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者虐待への対応 (6事例) 警察署からの虐待通報などをを受けて、関係者間での情報共有・協議等を行い、自宅訪問・面談を行うなど、個々に今後の対応策を検討しました。 ・「あなたと財産を守ります! 成年後見制度のご案内」のパンフレットを活用して、地区のケース検討会などで高齢者虐待について理解を深めてもらった。 ・介護支援専門員やサービス事業者と連携をとりながら、高齢者虐待を未然に防ぐよう取り組みを進めた。 	

6 評価	評価の視点	H24評価	H25評価	評価項目	内容		
					1	2	3
	妥当性		A	自治体関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 1 妥当である	<input type="checkbox"/> 2 検討の余地あり	<input type="checkbox"/> 3 妥当でない
				目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 1 妥当である	<input type="checkbox"/> 2 検討の余地あり	<input type="checkbox"/> 3 妥当でない
				対象の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 1 妥当である	<input type="checkbox"/> 2 検討の余地あり	<input type="checkbox"/> 3 妥当でない
	有効性		B	目標達成度	<input type="checkbox"/> 1 高い	<input checked="" type="checkbox"/> 2 目標どおり	<input type="checkbox"/> 3 低い・未実施
				類似事業の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 1 なし	<input type="checkbox"/> 2 検討の余地あり	<input type="checkbox"/> 3 あり
効率性		B	上位施策への貢献度	<input type="checkbox"/> 1 高い	<input checked="" type="checkbox"/> 2 普通	<input type="checkbox"/> 3 低い	
			コスト効率	<input type="checkbox"/> 1 高い	<input checked="" type="checkbox"/> 2 普通	<input type="checkbox"/> 3 低い	
			実施主体の適正化	<input checked="" type="checkbox"/> 1 適正である	<input type="checkbox"/> 2 改善の余地あり	<input type="checkbox"/> 3 適正でない	
				負担割合の適正化	<input checked="" type="checkbox"/> 1 適正である	<input type="checkbox"/> 2 改善の余地あり	<input type="checkbox"/> 3 適正でない
	1次評価 (課長総括)		B	事業の進め方・内容について改善の余地あり	2次評価	不要	
	後(課題及び今後の方針)の評価結果	権利擁護に関する業務は、対応を早急かつスムーズに行う必要があり、関係する機関との連携・調整がより重要でありネットワークの構築を進める必要がある。			評価結果		

1 基本項目	事務事業名	認知症施策総合推進事業		担当部署	課名	社会福祉課		
	予算事業名	認知症施策総合推進事業			係名	地域包括支援センター予防係		
	事業区分	自治事務		電話番号	23-1093 (内線 171)			
	事業期間	開始年度	H22	終了年度	当面継続			
	総合計画	目標名	基本目標3 健やかで笑顔あふれるまち				会計	介護保険事業 一般会計
		政策名	9 健康で安心して暮らせる社会の構築				款	地域支援事業 民生費
		施策名	29 地域で支えあう福祉社会の推進				項	包括的支援事業・任意事業 社会福祉費
基本事業名		29-2 見守り支援体制の確立				目	任意事業費 老人福祉費	
				市民協働の状況	協働している			

2 事業概要	事業概要	地域において、認知症高齢者等と家族を支えることを目的に ①認知症への対応（予防、早期発見、ケア等）の普及啓発 ②地域、介護サービス、公的なサービスなどの「地域資源」をネットワーク化し有効な支援を行う体制の構築	
	対象	認知症高齢者、家族、認知症に関わる関係機関、住民 等	
	手段 (活動指標)	認知症に関する普及啓発活動、認知症サポーターの養成、介護者家族支援 等	
	意図 (成果指標)	地域における支援体制が充実することで、高齢者がたとえ認知症になっても安心して生活している。	

3 指標	指標名	単位	24年度		25年度			26年度
			計画	実績	計画	実績	達成率	計画
活動指標 成果指標	① 認知症サポーター数	人	1,800	1,961	2,000	2,257	112.9%	2,500
	② 徘徊高齢者SOSネットワーク登録者数	人	20	39	40	51	127.5%	50
	③							
	① 在宅サービス利用率	%	67.1	67.1	67.5	67.5	100.0%	67.8
	②							
	③							

4 コスト情報	区分	単位	24年度		25年度			26年度
			予算現額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
支出内訳	①需用費	円	236,000	214,934	287,000	60,280	-72.0%	97,000
	②委託料	円	60,000	60,000	624,000	564,000	840.0%	450,000
	③工事請負費	円						
	④負担金補助及び交付金	円			10,000			10,000
	⑤その他	円	1,253,000	840,924	477,000	128,723	-84.7%	207,000
	支出合計(A)	円	1,549,000	1,115,858	1,398,000	753,003	-32.5%	764,000
財源内訳	①国庫支出金	円	1,549,000	1,115,858	857,000	603,600	-45.9%	302,000
	②県支出金	円			176,000	49,800		151,000
	③地方債	円						
	④その他(使用料、雑入等)	円			365,000	99,603		311,000
	⑤一般財源	円						
	収入合計	円	1,549,000	1,115,858	1,398,000	753,003	-32.5%	764,000
人件費	①事務事業に携わる正規職員数	人	2	2	2	2	0.0%	2
	②年間所要時間	時間	800	800	800	800	0.0%	800
	③人件費(②×@ 4,200円)(B)	円	3,360,000	3,360,000	3,360,000	3,360,000	0.0%	3,360,000
総費用(A+B)	円	4,909,000	4,475,858	4,758,000	4,113,003	-8.1%	4,124,000	

5 取組内容	平成25年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容	
	認知症サポーター養成講座の開催 徘徊高齢者SOSネットワーク事業の継続 介護者家族の集いの開催 認知症カフェ(オレンジカフェ)の開催(10/10補助事業)	

6 評価	評価の視点	H24評価	H25評価	評価項目	内容		
	妥当性	妥当性	A	自治体関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 1 妥当である	<input type="checkbox"/> 2 検討の余地あり	<input type="checkbox"/> 3 妥当でない
目的の妥当性				<input checked="" type="checkbox"/> 1 妥当である	<input type="checkbox"/> 2 検討の余地あり	<input type="checkbox"/> 3 妥当でない	
対象の妥当性				<input checked="" type="checkbox"/> 1 妥当である	<input type="checkbox"/> 2 検討の余地あり	<input type="checkbox"/> 3 妥当でない	
有効性		B	目標達成度	<input type="checkbox"/> 1 高い	<input checked="" type="checkbox"/> 2 目標どおり	<input type="checkbox"/> 3 低い・未実施	
			類似事業の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 1 なし	<input type="checkbox"/> 2 検討の余地あり	<input type="checkbox"/> 3 あり	
効率性	B	上位施策への貢献度	<input type="checkbox"/> 1 高い	<input checked="" type="checkbox"/> 2 普通	<input type="checkbox"/> 3 低い		
		コスト効率	<input type="checkbox"/> 1 高い	<input checked="" type="checkbox"/> 2 普通	<input type="checkbox"/> 3 低い		
1次評価 (課長総括)	B	実施主体の適正化	<input checked="" type="checkbox"/> 1 適正である	<input type="checkbox"/> 2 改善の余地あり	<input type="checkbox"/> 3 適正でない		
		負担割合の適正化	<input checked="" type="checkbox"/> 1 適正である	<input type="checkbox"/> 2 改善の余地あり	<input type="checkbox"/> 3 適正でない		
			事業の進め方・内容について改善の余地あり	2次評価	不要		
	後の評価結果(課題及び今後)	今後も、地域における活動と一体的に実施することが望まれる。			評価結果		